D01347801F

ESOTERIC

Grandioso P1X

Super Audio CD Transport

取扱説明書

SUPER AUDIO CD

COMPACT disc DIGITAL AUDIO

目　次

お使いになる前に 4
　付属品の確認 4
　設置について 4
　お手入れ 4
安全にお使いいただくために 5
使用上の注意 8
　電源の極性について 8
ディスクについて 8
接 続 (本体) 10
接 続 (電源部) 12
各部の名称 (本体) 14
各部の名称 (電源部 / ディスプレー) 15
　電源部 15
　ディスプレー 15
リモコンについて 16
各部の名称 (リモコン) 17
基本操作 18
　電源オン / オフ 18
再　生 18
　一時停止する 19
　再生を停止する 19
　再生エリアの切り換え 20
　ES-LINK モードの切り換え 20
　早戻し / 早送りする 20
　スキップする 21
　数字ボタンで選んで再生する 21
リピート再生 21
　トラックリピート 21
　ディスクリピート 21
　プログラムリピート 21
　シャッフルリピート 21
再生モード 22
　再生モード変更 22
　プログラム再生 22
　シャッフル再生 22
ディスプレー 23
ディマー 23
設定について 24
設定できる項目と設定 25
　設定モード時の表示と内容 25
　出力端子 / フォーマット設定 25
　ES-LINK 設定 26
　クロック設定 26
　D/A コンバーター設定 26
　自動ディスプレー消灯設定 27
　優先再生エリア設定 27
　オート・パワー・セーブ機能設定 27
　ファームウェアのバージョン表示 27
出荷時の状態に戻す 28
困ったときは 28
仕　様 29
寸法図 30
　本体 30
　フット配置図 30
　電源部 31
　フット配置図 31
保証とアフターサービス 32
ソフトウェアに関する重要なお知らせ 33

"DSD" is a registered trademark.

"Super Audio CD" is a registered trademark.

This product incorporates copy protection technology that is protected by U.S. patents and other intellectual property rights of Rovi Corporation. The use of Rovi Corporation's copy protection technology in the product must be authorized by Rovi Corporation.
Reverse engineering and disassembly are prohibited.

ESOTERIC およびエソテリックは、ティアック株式会社の登録商標です。

その他、記載されている会社名、製品名、ロゴマークは各社の商標または登録商標です。

オープンソースに関する著作権およびライセンスは巻末の「ソフトウェアに関する重要なお知らせ」に記載します。

お使いになる前に

エソテリック製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

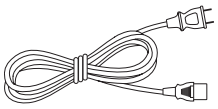
エソテリック製品は、最良の音質で末永くお使いいただくために、一台一台を厳しい品質管理のもとに製造しております。最良のコンディションでお使いいただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになったあとは、いつでも見られるところに保証書と一緒に大切に保管してください。

末永くご愛用くださいますよう、お願い申し上げます。

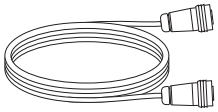
付属品の確認

万一、付属品に不足や損傷がありましたら、お買い上げになった販売店または弊社 AV お客様相談室 (34 ページに記載) にご連絡ください。

電源コード ×1



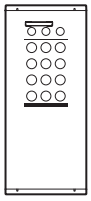
DC 電源接続コード × 2



HDMI ケーブル × 1



リモコン
(RC-1333)×1



リモコン用乾電池
(単 3)×2

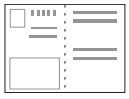


フェルト ×8



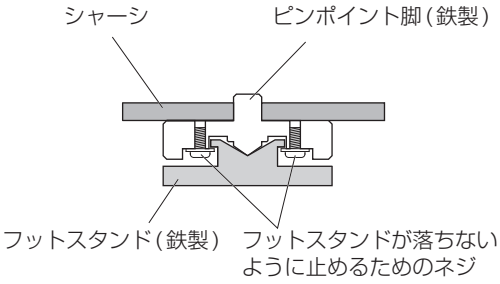
取扱説明書 (本書)×1

ご愛用者カード ×1



設置について

本体と電源部の底板には、高精度の鉄製ピンポイント脚が強固に取り付けられています。



フットスタンドはぐらついた状態になっていますが、設置するとピンポイント支持になり、振動を効果的に分散させます。

- 設置面を傷付けたくない場合は、フットスタンドの裏に付属のフェルトを貼ってお使いください。

お手入れ

製品表面の汚れは、乾いた柔らかい布で拭いてください。ひどい汚れのときは、固く絞った布で水拭きしてください。

ゴムやビニール製品を長時間触れさせると、キャビネットを傷めることがありますので避けてください。化学ぞうきんやベンジン、シンナーなどで拭かないでください。表面を傷める原因となります。

⚠ お手入れは安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

注意

本機のデジタル出力は、選択した端子 1 系統からのみ信号を出力します。

設定方法は、24 ページの「設定について」、25 ページの「出力端子 / フォーマット設定」をお読みください。

音のエチケット



楽しい音楽も、場合によっては大変気になるものです。静かな夜間には小さな音でもよく通り、隣近所に迷惑をかけてしまうことがあります。
適当な音量を心がけ、窓を閉めたりヘッドホンを使用するなどして、お互いに快適な生活環境を守りましょう。
このマークは音のエチケットのシンボルマークです。

安全にお使いいただくために

製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の注意事項をよくお読みください。

警告	**以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。**
 電源プラグをコンセントから抜く	**万一、異常が起きたら** **煙が出たり、変なにおいや音がするときは** **機器の内部に異物や水などが入ったときは** **この機器を落としたり、カバーを破損したときは** すぐに機器本体の電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。 販売店またはティアック修理センター (34 ページ) に修理をご依頼ください。
 禁止	**電源コードを傷つけない** **電源コードの上に重いものをのせたり、コードを壁や棚との間に挟み込んだり、本機の下敷きにしない** **電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、熱器具に近づけて加熱したりしない** コードが傷んだまま使用すると火災・感電の原因となります。 万一、電源コードが破損したら (芯線の露出、断線など)、販売店またはティアック修理センター (34 ページに記載) に交換をご依頼ください。
	付属の電源コードを他の機器に使用しない 故障、火災、感電の原因となります。
	交流 100 ボルト以外の電圧で使用しない この機器を使用できるのは日本国内のみです。表示された電源電圧 (交流 100 ボルト) 以外の電圧で使用しないでください。また、船舶などの直流 (DC) 電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。
	この機器を設置する場合は、放熱をよくするために、壁や他の機器との間は少し (20cm 以上) 離して置く **ラックなどに入れるときは、機器の天面から 5cm 以上、背面から 10cm 以上のすきまをあける** すきまをあけないと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
	この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすい物などを差し込んだり、落としたりしない 火災・感電の原因となります。
	この機器の通風孔をふさがない 通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。
 指示	**電源プラグにほこりをためない** 電源プラグとコンセントの周りにゴミやほこりが付着すると、火災・感電の原因となります。 定期的 (年 1 回くらい) に電源プラグを抜いて、乾いた布でゴミやほこりを取り除いてください。
 禁止	**機器の上に花びんや水などが入った容器を置かない** 内部に水が入ると火災・感電の原因となります。
 分解禁止	**この機器のカバーは絶対に外さない** カバーを開けたり改造すると、火災・感電の原因となります。 内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センター (34 ページ) にご依頼ください。
	この機器を改造しない 火災・感電の原因となります。

安全にお使いいただくために (続き)

⚠ 注意	以下の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
 電源プラグをコンセントから抜く	**移動させる場合は、電源のスイッチを切るか、またはスタンバイにし、必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続ケーブルを外す** ケーブルが傷つき、火災・感電の原因や、引っ掛けてけがの原因になることがあります。
	旅行などで長期間この機器を使用しないときやお手入れの際は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜く 通電状態の放置やお手入れは、漏電や感電の原因となることがあります。
 指示	**オーディオ機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続する** **また、接続は指定のケーブルを使用する**
	電源を入れる前には、音量を最小にする 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。
	この機器は本体 29kg、電源 24kg あり大変重いので、開梱や持ち運びの際はけがをしないように注意する。
	この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグは簡単に手が届くようにする 異常が起きた場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて、完全に電源が切れるようにしてください。
	この機器には、付属の電源コードを使用する それ以外の物を使用すると、故障、火災、感電の原因となります。
 禁止	**ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない** **湿気やほこりの多い場所に置かない。風呂、シャワー室では使用しない** **調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所に置かない** 火災・感電やけがの原因となることがあります。
	電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らない コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。 必ずプラグを持って抜いてください。
 禁止	**濡れた手で電源プラグを抜き差ししない** 感電の原因となることがあります。


愛情点検

電源コードや本体に異常がないか、定期的に点検してください。
内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。
特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行うと、より効果的です。
5 年に 1 度は、販売店またはティアック修理センター (34 ページ) に内部の点検をご依頼ください。
費用についてはお問い合わせください。

電池の取り扱いについて

本製品は電池を使用しています。誤って使用すると、発熱、発火、液漏れなどの原因となりますので、以下の注意事項を必ず守ってください。

	警告　乾電池に関する注意
禁止	**乾電池は絶対に充電しない。** 破裂、液もれにより、火災・けがの原因となります。

	警告　電池に関する警告
強制	**電池を入れるときは、極性表示 (プラス ⊕ とマイナス ⊖ の向き) に注意し、電池ケースに表示されているとおりに正しく入れる。** 間違えると電池の破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
	長時間使用しないときは電池を取り出しておく。 液が漏れて火災、けが、周囲を汚損する原因となることがあります。もし液が漏れた場合は、電池ケースに付いた液を良く拭き取ってから新しい電池を入れてください。また、万一漏れた液が身体に付いたときは、水で良く洗い流してください。
禁止	**指定以外の電池は使用しない。** **新しい電池と古い電池、または種類の違う電池を混ぜて使用しない。** 破裂、液漏れにより、火災、けがや周囲を汚損することがあります。
	炎天下の車内や暖房器具のそばなど、温度が高くなるところで保管しない 本体の変形によるショートや発火、故障、電池の劣化の原因となります。

	注意　電池に関する注意
禁止	**金属製の小物類と一緒に携帯、保管しない。** ショートして液漏れや破裂などの原因となることがあります。
	電池を熱したり、火または水に投げ入れたりしない 電池の破裂、液漏れにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
分解禁止	**分解しない。** 電池内の酸性物質により、皮膚や衣服を損傷する恐れがあります。

使用上の注意

- 本体と電源部の上には物を置かないでください。
- 直射日光が当たる場所や暖房器具の近くなど、温度が高くなるところに置かないでください。また、アンプなど熱を発生する機器の上には置かないでください。
- 再生中はディスクが高速回転しているので、本体を持ち上げたり動かしたりしないでください。ディスクを傷つける恐れがあります。
- ガラスドア付きラックに設置した場合、ガラスドアを閉めたままリモコンのトレー開閉ボタン (OPEN/CLOSE) を押してディスクトレーを開けないでください。強い力でディスクトレーの動きが妨げられると、故障の原因になります。
- 本機を移動したり、引っ越しなどで梱包する場合は、必ずディスクを取り出してください。ディスクを内部に入れたまま移動すると、故障の原因となります。
- 安定した場所に設置してください。
- ES-LINK のフォーマットはエソテリック独自であり HDMI 規格と互換性はありません。ES-LINK 端子と他社機器の HDMI 端子を接続しないでください。

電源の極性について

付属の電源コードのプラグ部分に丸い突起がある方が、本機のアース側を示しています。一般的に、家庭用電源コンセントの差し込み口は、長い溝の方がアース側です。

接続時の電源プラグの差し込む向き (極性) によって、音質が変わることがあります。お好みの音質となる向きで接続してください。



ディスクについて

下の表に表示されているマークはディスクレーベル、またはジャケットに付いています。本機はこの表のディスクをアダプターなしで再生することができます。
この表のディスク以外は再生できません。

本機で再生できるディスクの種類とマーク

スーパーオーディオ CD SUPER AUDIO CD
音楽用 CD COMPACT disc DIGITAL AUDIO

上記以外のディスクを再生すると、大音量のノイズを発生してスピーカーを破損したり、聴覚を傷付ける恐れがあります。上記以外のディスクは絶対に再生しないでください。

- DVD ビデオ、DVD オーディオ、ビデオ CD、DVD-ROM、CD-ROM などは再生できません。
- コピーコントロール CD など、CD の標準規格に準拠していない特殊なディスクや Dual Disc は正常に再生できないことがあります。本機で特殊なディスクを使用した際の動作や音質については保証いたしかねます。特殊なディスクの再生に支障がある場合は、該当するディスクの発売元にお問い合わせください。

CD-R/CD-RW について

本機は音楽 CD フォーマットで記録された CD-R/CD-RW を再生することができます。

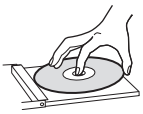
- CD レコーダーで作成したディスクは、忘れずにファイナライズしてください。

ディスクの品質、記録の状態によっては再生できないことがあります。詳しくはお手持ちの機器の説明書をお読みください。

ディスクの取り扱い

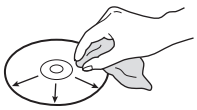
- ディスクはレーベル面を上にしてセットしてください。(コンパクトディスクの再生は片面だけです)
- ディスクをケースから取り出すときは、必ずケースの中心を一度押して、ディスクの外周部分を手ではさむように持ってください。

取り出し方　　ディスクの持ち方

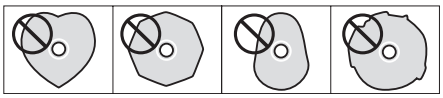




- 信号記録面 (レーベルがない面) に傷、指紋、汚れなどがあると、再生時にエラーの原因となることがありますので、お取り扱いにはご注意ください。
- 信号記録面に指紋やほこりがついたら、柔らかい布で内側中心から外側へ直角方向に軽く拭いてください。
ディスクの汚れは音質低下の原因となりますので、いつもきれいに清掃して保管してください。



- レコードクリーナー、帯電防止剤、ベンジン、シンナーなどで絶対に拭かないでください。これらの化学薬品で表面が侵されることがあります。
- 直射日光が当たる場所や、高温多湿な場所には放置しないでください。
- ディスクのレーベル面に何か書き込むときは、油性のフェルトペンをお使いください。ボールペンなど、先端の固いペンを使うと、ディスク面を傷つけて再生ができなくなる場合があります。
- 再生が終わったディスクは、必ずケースに入れて保管してください。そのままディスクを放置するとそりやキズの原因となります。
- ディスクにラベルなどを貼らないでください。ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのシールなどをはがしたあとがあるもの、またシールなどから糊がはみ出ているものは使用しないでください。そのまま本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。
- 市販の CD 用スタビライザーは、絶対に使用しないでください。再生できなくなったり、故障の原因となります。
- ヒビが入ったディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。
- ハート形や八角形など特殊形状のディスクは、機器の故障の原因となりますので使用しないでください。

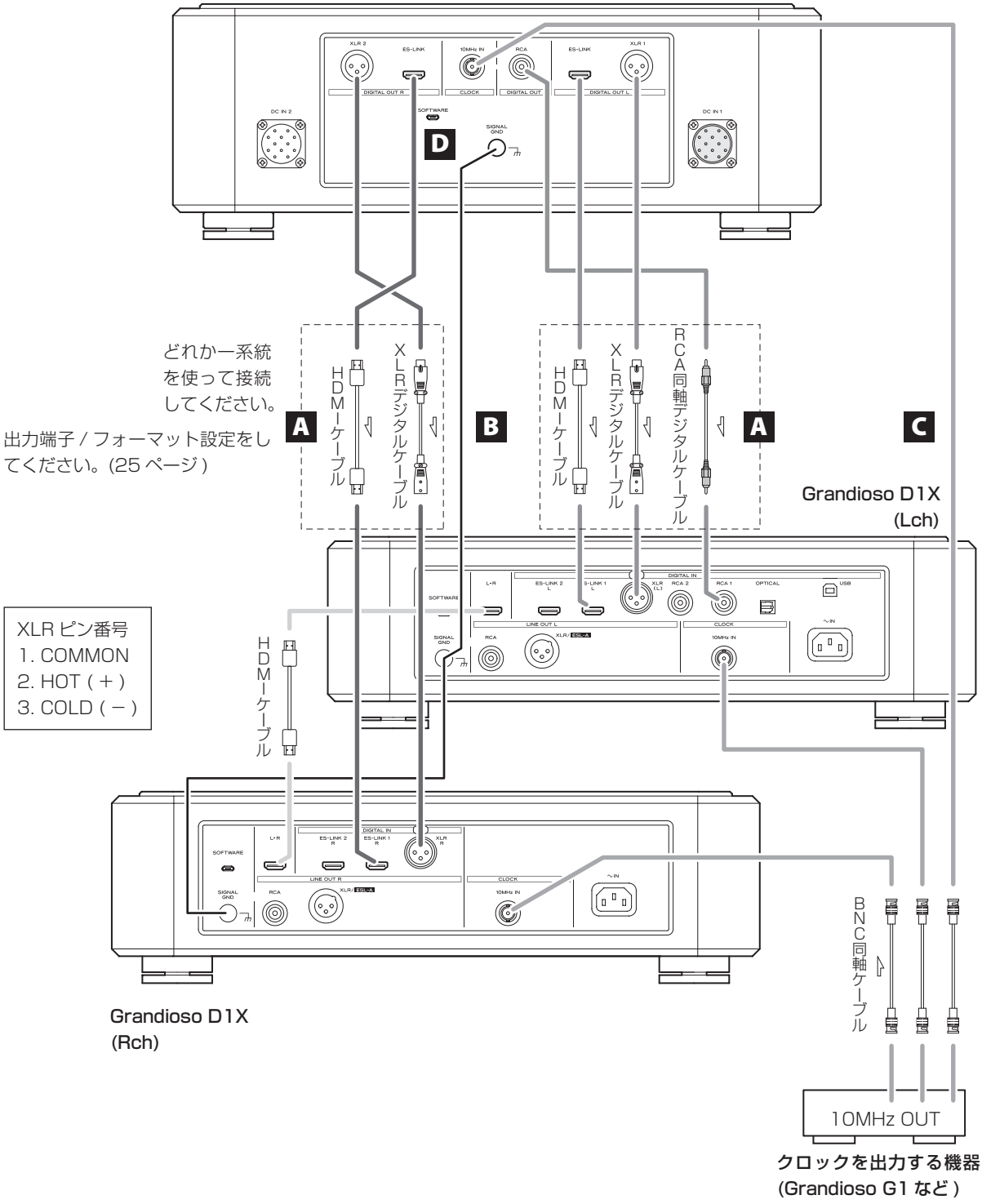


- レーベル面に印刷するタイプのディスク (プリンタブルディスク) は使用しないでください。表面が特殊加工されているため、本機にかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障の原因となることがあります。

CD-R や CD-RW ディスクの取り扱いについてご不明な点がある場合は、直接ディスクのメーカーにお問い合わせください。

接 続 (本体)

スーパーオーディオ CD/CD トランスポート (Grandioso P1X 本体)



A デジタル音声出力端子 (DIGITAL OUT)

デジタル音声を出力します。Grandioso D1X などの D/A コンバーターのデジタル入力端子と接続してください。

ES-LINK : HDMI ケーブル

- ES-LINK のフォーマットはエソテリック独自であり HDMI 規格と互換性はありません。ES-LINK 端子と他社機器の HDMI 端子を接続しないでください。

以下の接続には市販のケーブルをお使いください。

XLR : XLR デジタルケーブル
RCA : RCA 同軸デジタルケーブル

- D/A コンバーターとの接続は、上記のどれか一系統を使って接続してください。

接続した端子に合わせて、各端子の出力設定を行ってください。(25 ページ)

- Grandioso D1X との接続は ES-LINK 接続を推奨します。
- エソテリックの D/A コンバーター (Grandioso D1X/Grandioso D1/D-02X/D-05X/D-01/D-02/D-03/D-05/D-07/D-07X) または Dual AES に対応している D/A コンバーターと接続する場合は、2 本のケーブルを使って本体の XLR1(L) 端子と D/A コンバーターの L 端子、本体の XLR2(R) 端子と D/A コンバーターの R 端子をそれぞれ接続してください。(Dual AES 接続)

> XLR 端子の接続は、2 種類の方法があります。
> **SINGLE 接続 (AES/EBU フォーマット)**
> L と R の音声信号を 1 本の信号線で送ります。
> **DUAL 接続 (DUAL AES フォーマット)**
> L と R の音声信号をそれぞれ別の信号線で送ります。

B アース端子 (SIGNAL GND)

アース端子を D/A コンバーターやアンプなどとアース接続すると、音質が良くなることがあります。

- 安全アースではありません。

C 10MHz クロック入力端子 (CLOCK 10MHz IN)

10MHz の同期信号 (クロック) を入力します。(14 ページ)

クロックを出力する機器を使用する場合は、クロックを出力する機器のクロック出力端子と本体のクロック入力端子 (CLOCK 10MHz IN) を接続してください。その後、クロック設定 (CLK >) を「SYNC」に設定してください。(26 ページ)

接続には市販の BNC 同軸ケーブルをお使いください。

- BNC 同軸ケーブルはインピーダンス 50Ω または 75Ω のものがお使いいただけます。

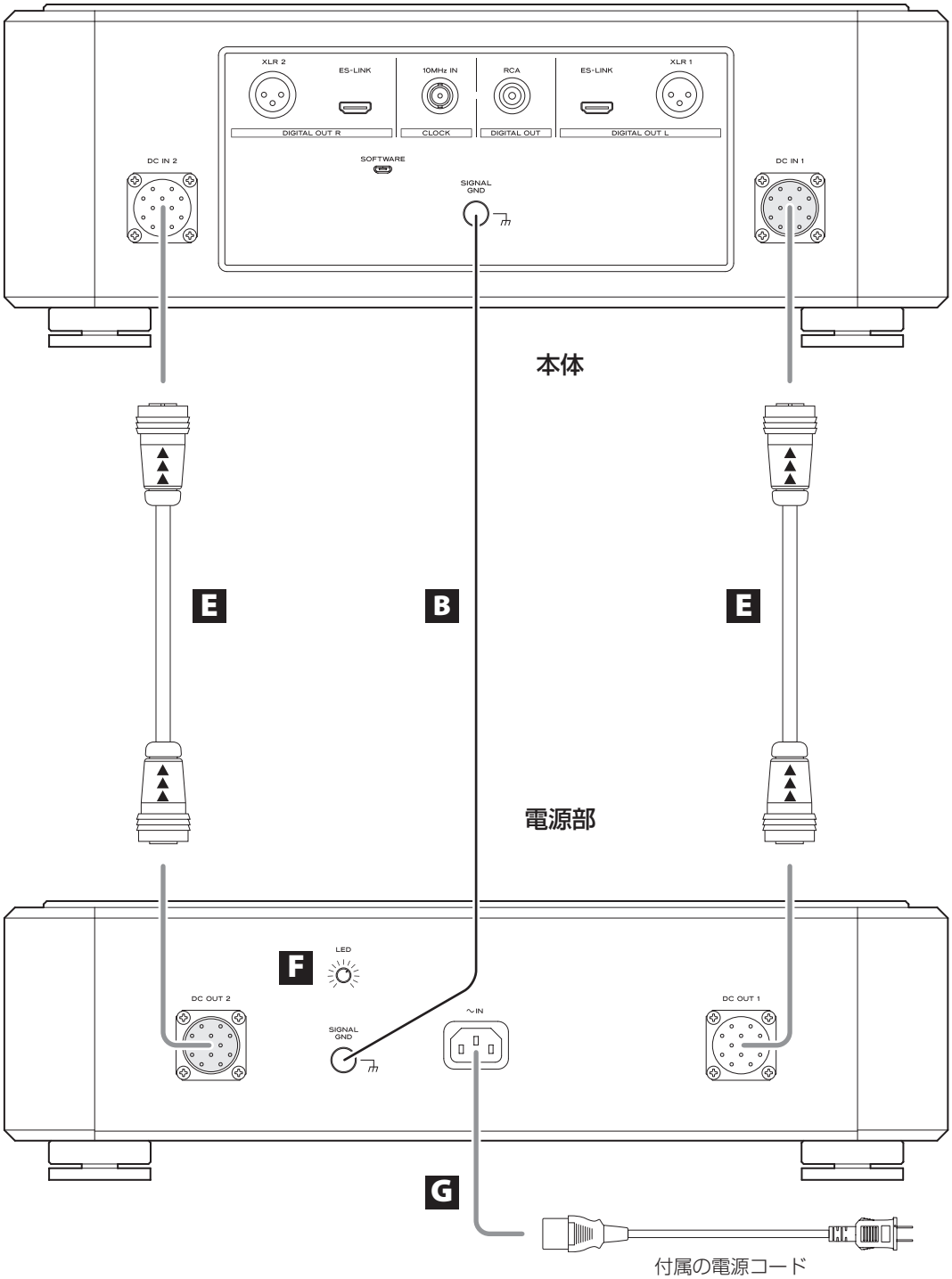
D メンテナンス用端子 (SOFTWARE)

メンテナンスで使用します。弊社サービス部門の指示が無い限り、何も接続しないでください。

接 続 (電源部)

⚠ 接続時の注意

- 全ての接続が終わってから電源プラグを差し込んでください。
- 接続する機器の取扱説明書をよく読み、説明に従って接続してください。
- DC 電源接続コードの矢印の向きに注意して接続してください。

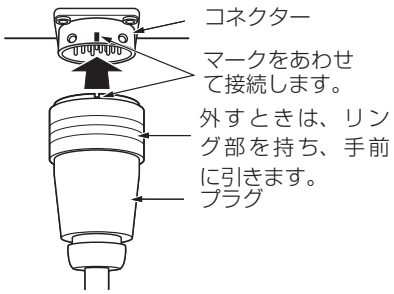


E DC 電源入出力端子 (DC IN、DC OUT)

本体の DC 電源入力端子 (DC IN) と、電源部の DC 電源出力端子 (DC OUT) を、付属の DC(直流) 電源コード 2 本を使って接続します。

DC OUT 1 ➡ DC IN 1
DC OUT 2 ➡ DC IN 2

- DC(直流) 電源コードには矢印が印刷されています。矢印が 12 ページの図の向きになるように接続してください。
  DC(直流) 電源コードの凹凸と矢印の向きを確認してプラグ部を持ち、プラグとコネクターのマークを合わせて、カチッと音がするまで確実に押し込みます。外すときは、リング部を持って手前にまっすぐに引き抜いてください。抜き差しするときに、プラグを斜めにしたり揺らしたりしないでください。
- DC(直流) 電源コードを抜き差しするときは、電源は必ずオフにしておいてください。
- DC(直流) 電源コードを抜き差しするときは、リング部に指を挟まないようご注意ください。



⚠ **P-0、P-01、Grandioso P1、Grandioso C1 の本体には絶対に接続しないでください。故障の原因になります。**

F LED 輝度調整つまみ

電源インジケーターの明るさを調節します。

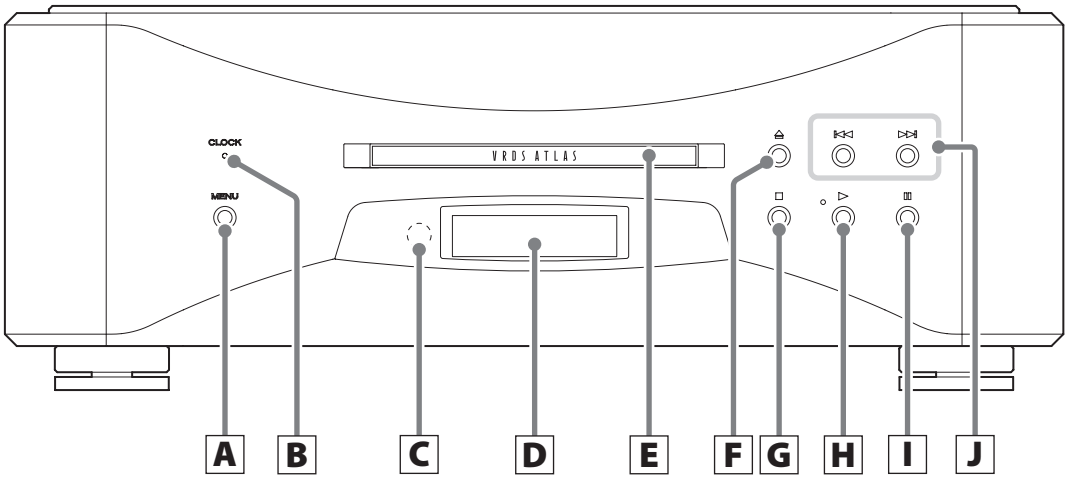
G AC インレット (～ IN)

AC インレット (～ IN) に付属の電源コードを差し込んでください。全ての接続が終わったら、電源プラグを 100V AC の電源コンセントに差し込んでください。

- 電源部の AC インレットは 3 ピン仕様になっていますが、アースピンはシャーシには接続されていません。

⚠ **エソテリック純正の電源コード以外は使わないでください。火災や感電の原因になることがあります。また、長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いておいてください。**

各部の名称 (本体)



A メニューボタン (MENU)

設定モードに入ります。(24 ページ)

B クロックインジケーター (CLOCK)

クロック同期の状態を表示します。
クロック設定を「SYNC」にすると点滅を始め、クロックを感知して同期すると点灯に変わります。

C リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します。リモコンを使用するときは、リモコンの先端をこちらに向けて操作してください。(16 ページ)

D ディスプレー

再生時間や曲数などの情報を表示します。(23 ページ)

E ディスクトレー

再生するディスクをセットします。(18 ページ)

F トレー開閉ボタン (⏏)

ディスクトレーを開閉します。(18 ページ)

G 停止ボタン (■)

再生を停止します。(19 ページ)
停止中長押しすると、スーパーオーディオ CD の再生エリアを切り換えます。(20 ページ)
設定モード中に押すと、設定を終了して通常の表示に戻ります。(24 ページ)

H 再生ボタン (▶)

ディスクを再生します。(18 ページ)
再生中は、このボタンの横にある再生インジケーターが点灯します。

I 一時停止ボタン (❚❚)

再生を一時停止します。(19 ページ)
一時停止中は、再生ボタンの横にある再生インジケーターが点滅します。

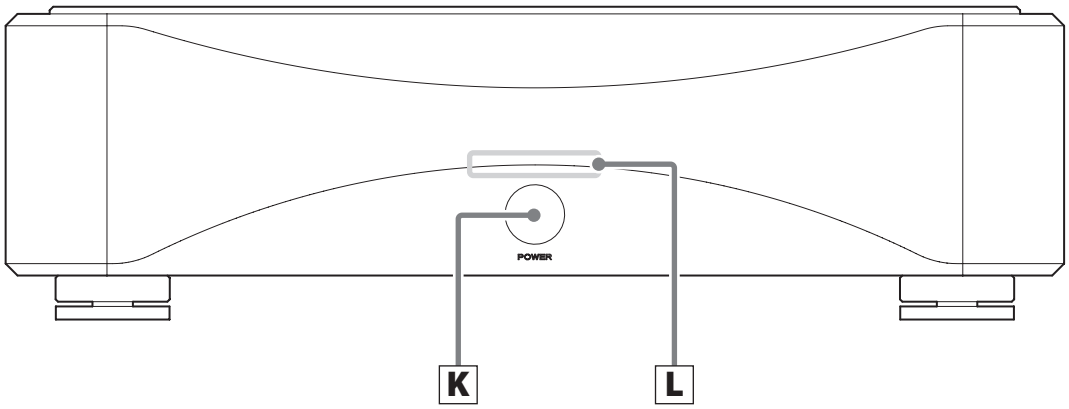
Grandioso D1X と ES-LINK 接続時
停止中に長押しすると、ES-LINK のモードを切り換えます。(26 ページ)

J スキップボタン (I◀◀ / ▶▶I)

前または後ろの曲にスキップします。(21 ページ)
再生中に長押しすると早戻し / 早送りをします。長押しを繰り返していくと、早戻し / 早送りのスピードが変わります。(20 ページ)
設定モード時のパラメーター変更に使用します。(24 ページ)

各部の名称 (電源部 / ディスプレー)

電源部



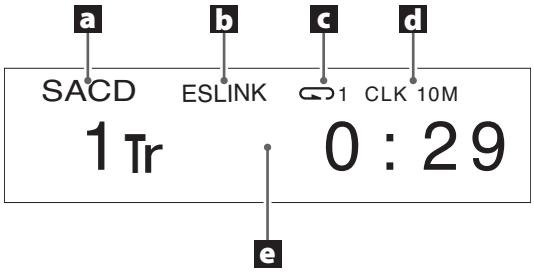
K 電源ボタン (POWER)

電源のオンとオフを切り換えます。

L 電源インジケーター

電源がオンのとき青く光ります。

ディスプレー



a ディスク表示

セットされているディスクの種類を表示します。
SACD : スーパーオーディオ CD
CD : 音楽用 CD

- ハイブリッドのスーパーオーディオ CD がセットされているときは、再生するエリアの種類を表示します。(20 ページ)

b 出力表示

出力端子設定を表示します。(25 ページ)

- ES-LINK ステレオモードで出力するときは、「ESLINK st」と表示します。(26 ページ)

c 再生モード / リピート表示

再生モードやリピートモードを表示します。(22、21 ページ)

d クロックモード表示

クロック設定を表示します。(26 ページ)
無表示 : CLK>OFF 設定時
CLK : CLK>SYNC 設定時

e メッセージ表示部

再生時間など各種メッセージを表示します。

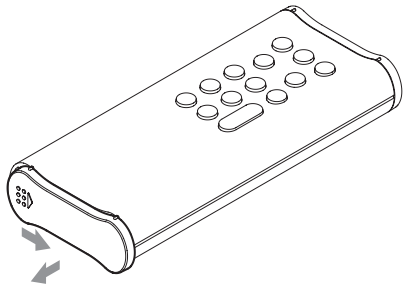
リモコンについて

リモコン使用上の注意

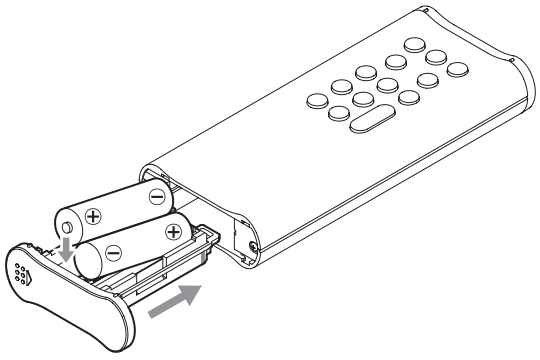
- リモコンの先端を本体のリモコン受光部に向けて、7メートル以内の距離で操作してください。本体とリモコンの間には障害物を置かないでください。
- リモコンの受光部に直射日光や照明の強い光が当たっていると、リモコン操作ができないことがあります。
- 本機のリモコンを操作すると、赤外線によりコントロールする他の機器を誤動作させることがありますのでご注意ください。

電池の入れ方

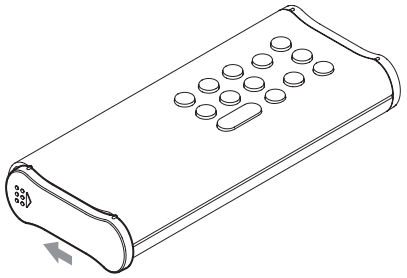
1 リモコンの底面を図のようにスライドさせて、電池ケースを引き出す。



2 ケースの ⊕ と ⊖ の表示に合わせて乾電池（単3形）2本を入れて電池ケースを戻す。



3 リモコンの底面を図のようにスライドさせて、電池ケースを取り付ける。



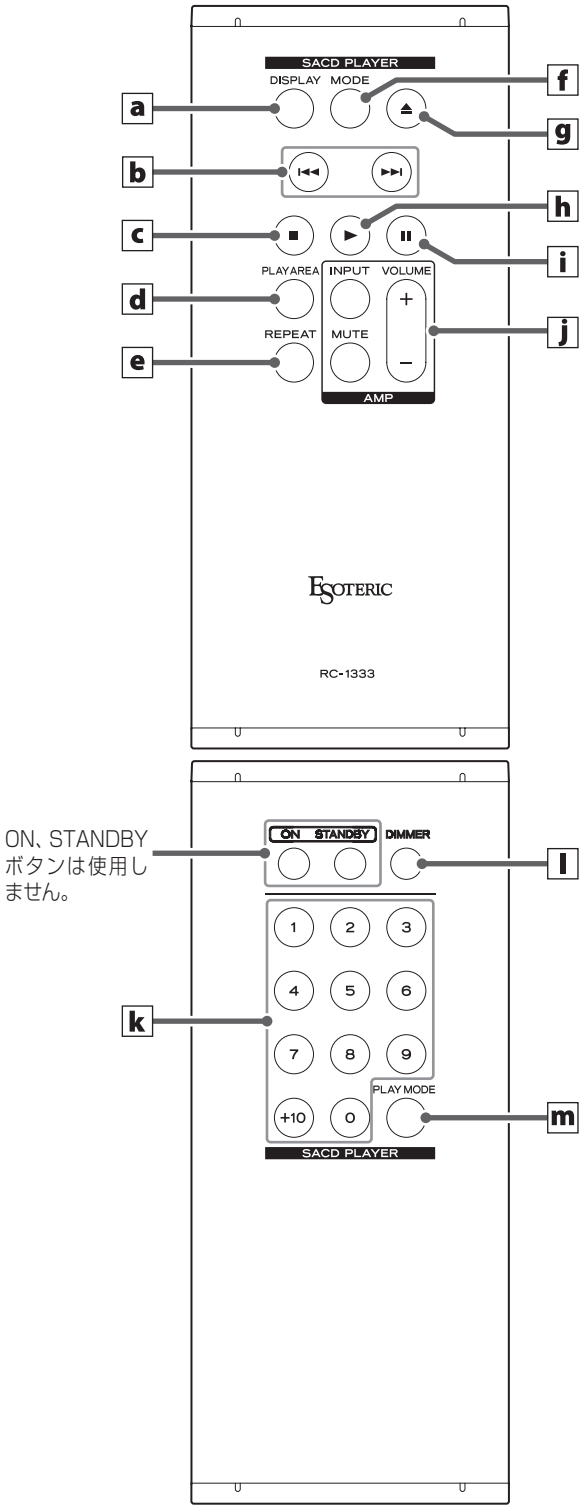
電池の交換時期

操作範囲が狭くなったり、操作ボタンを押しても動作しない場合は、2本とも新しい電池に交換してください。
使い終わった電池は電池に記載された廃棄方法、もしくは各市町村指定の廃棄方法に従って捨ててください。

⚠ 電池についての注意

乾電池を誤って使用すると、電池の破裂、液もれにより、火災、けがや周囲を汚損する原因となることがあります。
7 ページの注意をよく読んでご使用ください。

各部の名称 (リモコン)



本体とリモコンに同じ機能のボタンがある場合、この取扱説明書ではいずれかのボタンを使って説明していますが、記載されていない方のボタンも同様に使えます。

a ディスプレーボタン (DISPLAY)

再生中または一時停止中に押すと、ディスプレーの表示が切り換わります。(23 ページ)

b スキップボタン (I◄◄ / ►►I)

前または後ろのトラックにスキップします。
再生中に長押しすると、早戻し / 早送りをします。長押しをくり返すと、早戻し / 早送りのスピードが変わります。(20 ページ)
設定モード時のパラメーター変更に使用します。(24 ページ)

c 停止ボタン (■)

再生を停止します。
設定モード中に押すと、設定を終了して通常の表示に戻ります。(24 ページ)

d 再生エリアボタン (PLAY AREA)

停止中に押すと、スーパーオーディオ CD の再生エリアを切り換えます。(20 ページ)

e リピートボタン (REPEAT)

リピート再生に使います。(21 ページ)

f モードボタン (MODE)

設定モードになります。(24 ページ)

g トレー開閉ボタン (▲)

ディスクトレーを開閉します。

h 再生ボタン (►)

ディスクを再生します。

i 一時停止ボタン (II)

再生を一時停止します。
一時停止中に押すと再生します。

j アンプ用ボタン (AMP)

本機では使用しません。エソテリックのアンプで使用することができます。

k 数字ボタン

選曲とプログラム再生に使います。(21、22 ページ)

l ディマーボタン (DIMMER)

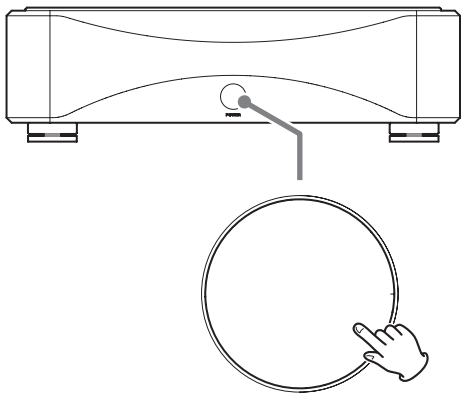
本体のディスプレーの明るさを調節できます。(23 ページ)

m 再生モードボタン (PLAY MODE)

プログラム再生モードやシャッフル再生モードに切り換えます。(22 ページ)

基本操作

電源オン / オフ

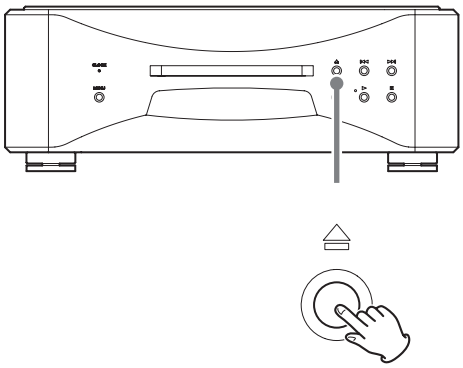


電源ボタン (POWER) を押すたびに、電源のオン / オフが切り換わります。オンのときは、電源インジケーターと本体のディスプレーが点灯します。

- オート・パワー・セーブ設定 (APS) は、出荷時「30m」に設定されています。(27 ページ)
- 本機を使用するときは、接続してある機器 (D/A コンバーター、アンプなど) の電源もオンにしてください。

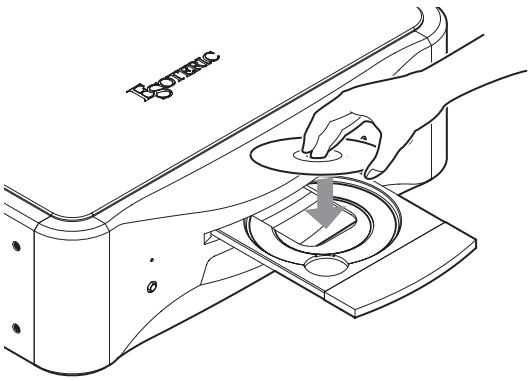
再　生

1 **トレー開閉ボタン (▲) を押す。**



ディスクトレーが手前に出ます。

2 **ディスクのレーベル面を上にしてトレーの中央にのせる。**



- ディスクが中央のガイドから外れた状態でトレーを閉じると、ディスクが中で引っかかりトレーが開かなくなることがありますので、ディスクは必ずトレーの中央のガイドにしっかり合わせて置いてください。

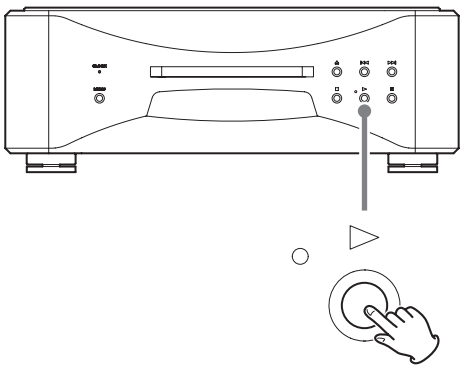
3 **トレー開閉ボタン (▲) を押す。**



ディスクトレーが引き込まれます。指を挟まないようにご注意ください。

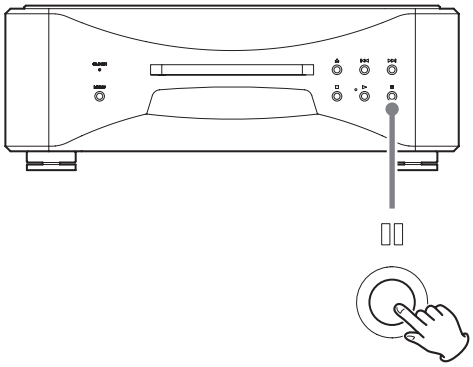
- ディスクの読み込みには多少時間がかかります。
- ディスクの読み込みモードを変更することができます。(27 ページ)

4 再生ボタン (▶) を押す。



再生が始まります。
再生中は、再生インジケーターが青く点灯します。

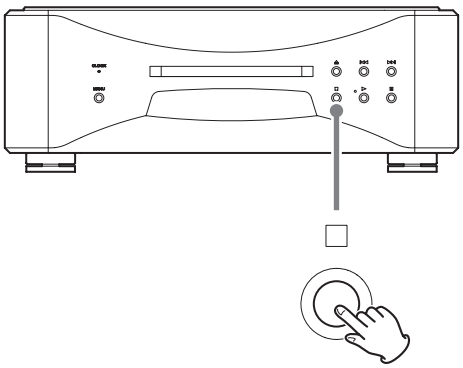
一時停止する



再生中に一時停止ボタン (❚❚) を押すと再生が一時停止し、再生インジケーターが青く点滅します。

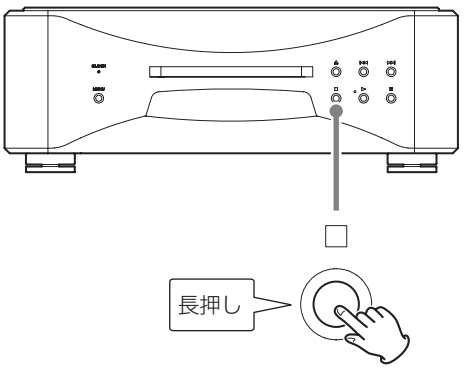
再生ボタン (▶) または一時停止ボタン (❚❚) を押すと、再生が始まります。

再生を停止する



停止ボタン (■) を押すと再生が停止します。

再生エリアの切り換え



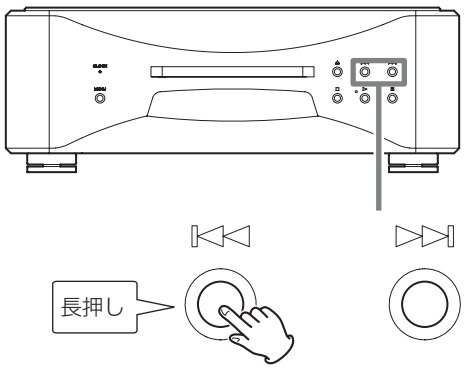
スーパーオーディオ CD には、ステレオ (2 チャンネル) とマルチチャンネルなど複数のエリアを持つものや、スーパーオーディオ CD と CD の 2 層構造 (ハイブリッド) になっているものがあります。
停止中に停止ボタン (■) を長押しすると、再生エリアを切り換えることができます。

- リモコンで再生エリアの切り換えをするには、停止中に再生エリアボタン (PLAY AREA) を押してください。
- 本機は、スーパーオーディオ CD のマルチチャンネルエリアの再生には対応していません。

ES-LINK モードの切り換え

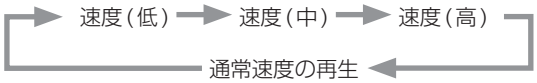
Grandioso D1X と接続して MQA-CD を MQA デコードして再生するには、ES-LINK 設定をステレオモード (ESLINK>ST) に設定する必要があります。(26 ページ)
停止中に一時停止ボタン (❚❚) を長押しすると、ES-LINK 設定を切り換えることができます。

早戻し / 早送りする



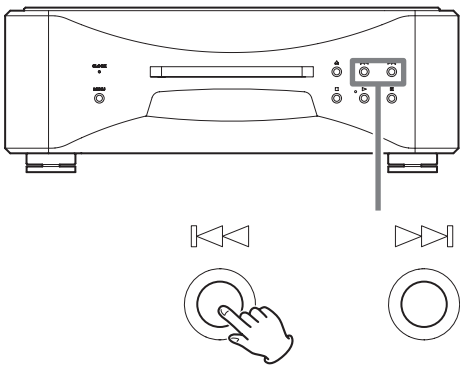
再生中に、早戻し / 早送りが始まるまで、スキップボタン (I◄◄ / ►►I) を長押しします。聴きたい部分が見つかったら、再生ボタン (►) を押してください。

スキップボタン (I◄◄ / ►►I) の長押しを繰り返していくと、早戻し / 早送りの速度が変わります。
ディスプレーの「＜」または「＞」の点滅速度も変わります。



リピート再生

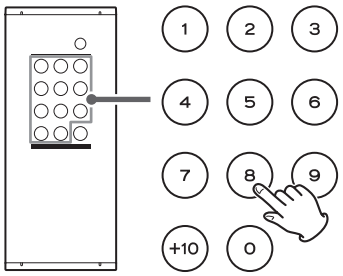
スキップする



再生中にスキップボタン (⏮ / ⏭) を押すと、前または後ろの曲にスキップして再生を始めます。

- ⏮ ボタンを 1 回押すと、再生中の曲の頭に戻ります。それより前に戻りたいときは、⏮ ボタンを続けて押してください。
  ただし、曲の最初の 1 秒以内で ⏮ ボタンを押した場合は、前の曲にスキップします。
- 停止中または一時停止中に ⏮ / ⏭ ボタンを押すと、選んだ曲の頭で一時停止状態になります。

数字ボタンで選んで再生する

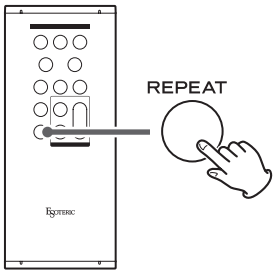


再生中または停止中に数字ボタンを押すと、その曲から再生を始めます。

例)

曲番 7 : (7)

曲番 23 : (+10) ⇨ (+10) ⇨ (3)



通常再生中にリピートボタン (REPEAT) を押すと、リピートモードが以下のように切り換わります。

REPEAT TRK (トラックリピート) → REPEAT DISC (ディスクリピート) → REPEAT OFF (通常の再生) → REPEAT TRK

プログラム再生中にリピートボタン (REPEAT) を押すと、リピートモードが以下のように切り換わります。

REPEAT PGM(プログラムリピート)
⇕
REPEAT OFF(プログラム再生)

シャッフル再生中にリピートボタン (REPEAT) を押すと、リピートモードが以下のように切り換わります。

REPEAT SHF(シャッフルリピート)
⇕
REPEAT OFF(シャッフル再生)

- 再生を停止するとリピート再生は解除されます。

トラックリピート

再生中の曲をくり返し再生します。リピート再生中に他の曲を選ぶと、その曲をくり返し再生します。

ディスクリピート

再生中のディスクの全曲をくり返し再生します。

プログラムリピート

プログラムした曲をくり返し再生します。

シャッフルリピート

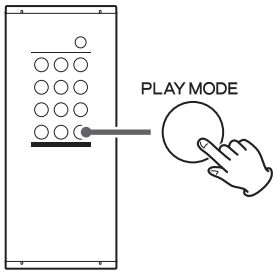
シャッフル再生をくり返し行います。

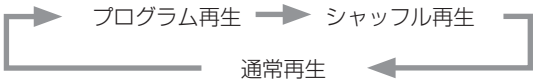
- 再生する曲の順番は、シャッフル再生毎に異なります。

再生モード

再生モード変更

停止中に再生モードボタン (PLAY MODE) を押すたびに再生モードが変わります。





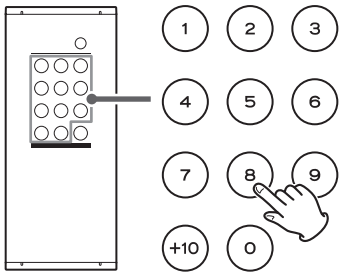
- トレー開閉ボタン (▲) や本体の電源ボタン (POWER) を押すと、再生モードは通常再生に戻ります。

プログラム再生

聴きたい曲を順番に 24 曲までプログラムできます。

1 再生モードをプログラム再生にする。

2 数字ボタンでプログラムしたい曲番を選ぶ。



例)

曲番 3 : (3)

曲番 12 : (+10) ⇨ (2)

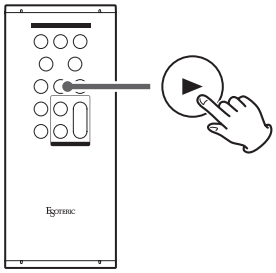
曲番 20 : (+10) ⇨ (+10) ⇨ (0)



複数の曲をプログラムするときは、続けて数字ボタンを押してください。

- そのディスクに存在しない曲番はプログラムできません。

3 プログラムが完了したら、再生ボタン (►) を押す。



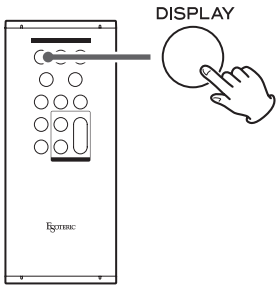
プログラム再生が始まります。

- 再生モードを切り換えると、プログラム内容は消去されます。

シャッフル再生

再生モードをシャッフル再生にして、再生 / 一時停止ボタン (►/❚❚) を押すと、ディスクのトラックをシャッフル再生します。

ディスプレー



ディスクの再生中または一時停止中にディスプレーボタン (DISPLAY) を押すと、ディスプレーの表示が次のように切り換わります。

例）



再生中のトラック番号　再生中のトラックの経過時間



再生中のトラックの残り時間



ディスクの経過時間



ディスクの残り時間

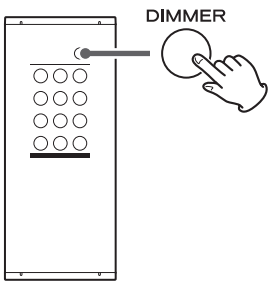
- 停止中は、ディスクの総トラック数と総再生時間を表示します。

例）



総トラック数　ディスクの総再生時間

ディマー



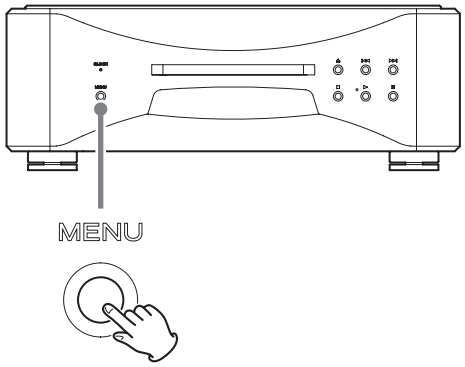
本体のディスプレーの明るさを調節できます。

DIMMER 3
↓
DIMMER 2 （通常の明るさ）
↓
DIMMER 1
↓
消灯
→ DIMMER 3

- 消灯中に再生 / 一時停止ボタン (►/❚❚) などを押すと、約３秒間だけディスプレーが通常の明るさで点灯します。
- DIMMER 1 または消灯が選択されていても、設定メニューやエラー内容は通常の明るさ (DIMMER 2) で表示されます。
- 長押しすると、DIMMER 2 (通常の明るさ) に設定されます。

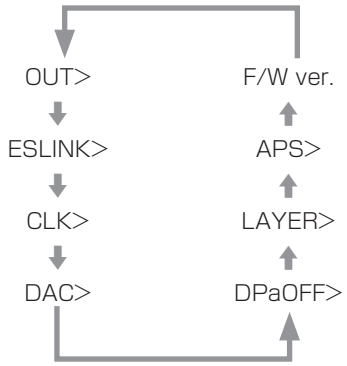
設定について

1 メニューボタン (MENU) をくり返し押して、変更する項目を選ぶ。



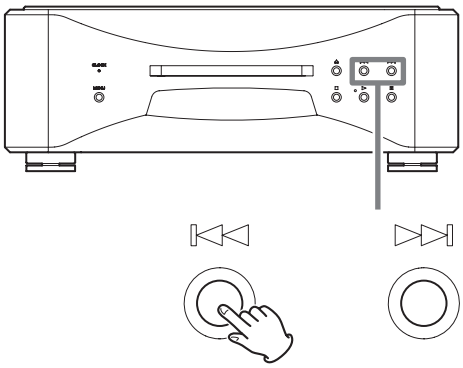
メニューボタン (MENU) を押すたびに、以下のようにディスプレーの表示が変わります。

- リモコンで操作するときは、モードボタン (MODE) を押してください。



- 10 秒以上放置すると、設定モードは解除されて通常の表示に戻ります。
- 停止ボタン (■) を押すと設定モードは解除されます。
- 停止状態のときのみ設定の変更ができます。再生をしているときは、停止ボタン (■) を押して停止状態にしてから操作してください。

2 I◄◄ / ►►I ボタンを使って、設定を変更する。



各設定内容については、25 ～ 27 ページをお読みください。
10 秒以上放置するか、停止ボタン (■) を 1 回押すと、設定を終了して通常の表示に戻ります。

- リモコンのスキップボタン (I◄◄ / ►►I) でも操作できます。

- 設定した内容は電源プラグを抜いても保持されます。

設定できる項目と設定

設定モード時の表示と内容

OUT> ＊＊＊
出力端子 / フォーマット設定
出力端子とアップコンバートの種類を設定します。

ESLINK> ＊＊＊
ES-LINK 設定

CLK >＊＊＊
クロック設定

DAC >＊＊＊
D/A コンバーター設定
接続する D/A コンバーターの種類を設定します。

DPaOFF >＊＊＊
自動ディスプレー消灯設定

LAYER >＊＊＊
優先再生エリア設定
スーパーオーディオ CD と CD の 2 層構造になっているハイブリッドディスクをセットしたときに、どの層を優先的に再生するのかを設定します。

APS >＊＊＊
オート・パワー・セーブ機能設定

F/W ver.
ファームウェアバージョン表示

出力端子 / フォーマット設定

OUT> ＊＊＊
出力端子とアップコンバートの種類を設定します。
出荷時は「ESLINK」に設定されています。

ESLINK
ES-LINK 端子からオーディオ信号を出力します。
CD 再生時は、8 倍にアップコンバートし 48bit フォーマットで出力します。

DUAL_8
XLR 出力を 2 本使い L、R 独立で出力します。
CD は 8 倍にアップコンバートし出力します。

DUAL_4
XLR 出力を 2 本使い L、R 独立で出力します。
CD は 4 倍にアップコンバートし出力します。

DUAL_2
XLR 出力を 2 本使い L、R 独立で出力します。
CD は 2 倍にアップコンバートし出力します。

XLR_4
XLR 出力 1 本でステレオ信号を出力します。
CD は 4 倍にアップコンバートし出力します。

XLR_2
XLR 出力 1 本でステレオ信号を出力します。
CD は 2 倍にアップコンバートし出力します。

XLR_1
XLR 出力 1 本でステレオ信号を出力します。
CD のアップコンバートは行いません。

RCA_4
RCA 出力 1 本でステレオ信号を出力します。
CD は 4 倍にアップコンバートし出力します。SA-CD は出力できません。

RCA_2
RCA 出力 1 本でステレオ信号を出力します。
CD は 2 倍にアップコンバートし出力します。SA-CD は出力できません。

RCA_1
RCA 出力 1 本でステレオ信号を出力します。
CD のアップコンバートは行いません。SA-CD は出力できません。

ES-LINK 設定

ESLINK> ＊＊＊

出荷時は「NML」に設定されています。

- ES-LINK 設定は、Grandioso D1X に ES-LINK で接続したときのみ反映されます。

NML

CD 再生時、ES-LINK 端子から 8 倍にアップコンバートした信号を出力します。

ST

CD 再生時、ES-LINK 端子からアップコンバートせずにステレオ信号を出力します。
MQA-CD の再生などにお使いください。

クロック設定

CLK >＊＊＊

出荷時は「OFF」に設定されています。

OFF

内蔵の水晶発振器をマスタークロックとして動作します。

SYNC

外部 10MHz クロックに内蔵水晶発振器を同期させて動作します。

D/A コンバーター設定

DAC >＊＊＊

接続する D/A コンバーターの種類を設定します。設定された種類によっては、SACD の再生出力ができないことがあります。また、この設定によって、著作権保護の暗号化の種類を設定します。
出荷時は「ESL3」に設定されています。

- D/A コンバーター設定は、本機と D/A コンバーターを DUAL 接続したときのみ反映されます。(11 ページ)

ESL3

Grandioso D1X、D-02X、D-05X、Grandioso D1、D-02 と接続するときに設定してください。
CD 再生時は、エソテリック独自の ESL3 48bit フォーマットで出力します。
SA-CD 再生時は、ESL2 フォーマットで出力します。

- 出力端子 / フォーマット設定で DUAL_8 を選択した場合、CD 再生時は 24bit の DUAL AES フォーマットで出力します。

ESL2

D-03、D-05、D-07、D-07X と接続する場合に設定してください。
CD 再生時は、24bit フォーマットで出力します。
SA-CD 再生時は、ESL2 フォーマットで出力します。

ESL1

D-01 と接続するときに設定してください。
CD 再生時は、24bit フォーマットで出力します。
SA-CD 再生時は、ESL1 フォーマットで出力します。

Other

上記の D/A コンバーター以外と接続する場合に設定してください。

自動ディスプレー消灯設定

DPaOFF ＞＊＊＊

ディスプレー表示を自動的に消灯することができます。
出荷時は、「ON」に設定されています。

- 有機 EL 表示管は、同じ表示状態で長時間使用し続けると、輝度ムラが起こることがありますので、自動消灯設定を ON にすることをお勧めします。

ON
10 分間表示に変化がない場合にディスプレーを自動で消灯します。

OFF
自動消灯を行いません。

優先再生エリア設定

LAYER ＞＊＊＊

スーパーオーディオ CD の中には、スーパーオーディオ CD と CD の 2 層構造になっているハイブリッドディスクがあります。
ハイブリッドディスクをセットしたときに、最初に読み込むエリアを設定します。
出荷時は「SACD」に設定されています。

SACD
SA-CD 層を最初に読み込みます。

CD
CD 層を最初に読み込みます。
CD 層を最初に聴きたい場合、DSD に対応していない D/A コンバーターと接続している場合に設定してください。

オート・パワー・セーブ機能設定

APS ＞＊＊＊

ディスクがセットされていないか停止の状態が設定された時間続くと、電源を自動的にオフにします。
出荷時は、「30m」に設定されています。

30m
30 分

60m
60 分

90m
90 分

120m
120 分

OFF
オート・パワー・セーブ機能を使用しません。

ファームウェアのバージョン表示

F/W ver.

F/W ver. 表示中にスキップボタン (►►I) を押すと、各ファームウェアのバージョンの確認ができます。

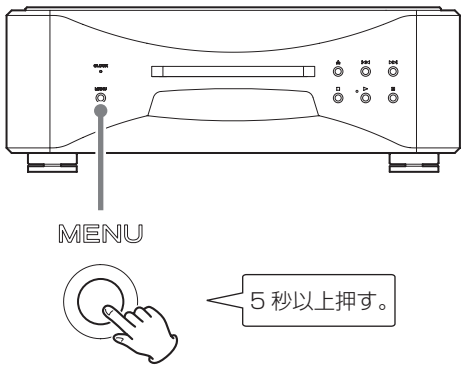
I/F ＊＊＊＊
I/F ファームウエア

B/E ＊＊＊＊
B/E ファームウェア

出荷時の状態に戻す

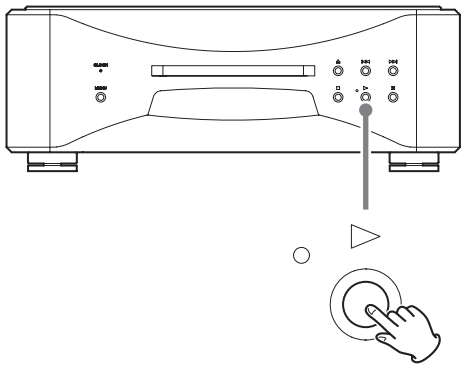
設定した内容は、電源プラグを抜いても保持されます。
以下の操作をすると、設定した内容を工場出荷時の状態に戻し、すべてのメモリーを消去します。

1 メニューボタン (MENU) を 5 秒以上押す。



ディスプレーに「Setup CLR?」(設定を消去しますか ?) と表示されます。

2 再生ボタン (▶) を押す。



ディスプレーに「Setup CLR」(設定消去) が表示され設定が工場出荷時の状態に戻ります。

困ったときは

本機の調子がおかしいときは、サービスを依頼される前に以下の内容をもう一度チェックしてください。また、本機以外の原因も考えられます。接続した機器の使用方法も合わせてご確認ください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (34 ページに記載) にご連絡ください。

電源が入らない。
- ➡ 電源コードが、電源部背面のインレットとコンセントに接続されているか確認してください。
- ➡ 電源コードが、接続されたコンセントに電流が流れているか、別の機器を接続するなどして確認してください。
- ➡ 本体と電源部をつなぐ DC 電源接続コードが正しく接続されているか確認してください。

電源が自動的にオフになる
- ➡ オート・パワー・セーブ機能が働いて電源がオフになっています。
  電源ボタンを押して、電源をオンにしてください。
  必要に応じてオート・パワー・セーブ設定を変更してください。(27 ページ)

リモコンで操作できない。
- ➡ 電源部の電源をオンにしてください。(18 ページ)
- ➡ 電池が消耗していたら、2 本とも新しい電池に交換してください。(16 ページ)
- ➡ 本体とリモコンの間に障害物があると操作できません。本体の正面から 7 メートル以内の距離で、本体の方を向けて操作してください。(16 ページ)

テレビなどが誤動作する。
- ➡ ワイヤレスリモコン機能を持つ電子機器は、本機のリモコン操作により誤動作する可能性があります。

再生できない。
- ➡ ディスクをトレーの中心に正しくセットしてください。
- ➡ ディスクが裏返しになっている場合は、ディスクのレーベル面を上にして入れ直してください。
- ➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。(9 ページ)
- ➡ 本体や電源部の内部が結露している場合は、電源を入れて 1、2 時間放置してください。(29 ページ)

ボタンを押しても反応しない。
- ➡ 続けてボタンを押すと本機が対応できずに動作しないことがあります。ボタンを押すときは、本機が反応するまで少しお待ちください。

雑音がする。
- ➡ テレビなど強い磁気を帯びたものからはできるだけ離して設置してください。

スピーカーから音が出ない。音が歪む。

- ➡ D/A コンバーター、アンプ、スピーカーとの接続を確認してください。(10 ページ)
- ➡ 接続した端子に合わせて、デジタル出力を切り換えてください。(25 ページ)
- ➡ アンプなどの音量を調節してください。
- ➡ ディスクが汚れている場合は、ディスクを拭いてください。(9 ページ)
- ➡ 一時停止中は音が出ません。再生ボタン (▶) を押して通常の再生に戻してください。

スーパーオーディオ CD のデジタル音声を出力できない。

- ➡ スーパーオーディオ CD のデジタル音声を出力するためには、エソテリックの D/A コンバーター (Grandioso D1X/D-02X/D-05X/Grandioso D1/D-02/D-05/D-03/D-01) が必要です。

クロックインジケーター (CLOCK) が点滅したままで、点灯にならない。

- ➡ クロックが入力されてない時は、クロック設定を「OFF」にしてください。(26 ページ)
- ➡ 10MHz 以外のクロックが入力されている可能性があります。10MHz クロック入力端子 (CLOCK 10MHz IN) の接続や、接続している機器の設定を確認してください。

「CLOCK!」が表示される。

- ➡ クロック設定や、接続に問題があります。クロック設定は、26 ページの「クロック設定」、接続については 10 ページの「接 続 (本体)」を確認してください。
  - 本機は、安定した外部クロックと同期するまで数十秒かかることがあります。

本機はマイコンを使用しておりますので、外部からの雑音やノイズ等によって正常な動作をしなくなることがあります。このような場合はいったん電源を切り、約 1 分後に始めから操作してください。

結露現象について

本機を寒い戸外から暖かい室内に持ち込んだり、設置した部屋の暖房を入れた直後などには、動作部やレンズに水滴がついて正常に動作しないことがあります。この場合は、電源を入れて 1 ～ 2 時間そのまま放置してください。正常に再生できるようになります。

仕　様

再生可能ディスク

スーパーオーディオ CD、CD、CD-R、CD-RW

デジタル出力

ES-LINK . . . . . 1 系統
XLR . . . . . 2 系統
(Dual AES 出力時は Lch、Rch で 2 端子を使用するので 1 系統になります。)
RCA . . . . . 1 系統

クロック入力

BNC 1
入力インピーダンス 50Ω
入力可能周波数 . . . . . 10MHz (±10ppm)
入力レベル . . . . . サイン波 0.5 ～ 1.0Vrms

一般

電源 . . . . . 100V AC 50/60Hz
消費電力 18W
外形寸法 (WxHxD、突起部含む)
　本体 . . . . . 445mm×162mm×449mm
　電源部 . . . . . 445mm×132mm×452mm

質量
　本体 29kg
　電源部 24kg

許容動作温度 . . . . . + 5℃～+ 35℃
許容動作湿度 . . . . . 5%～ 85% (結露のないこと)
許容保管温度 . . . . . − 20℃～+ 55℃

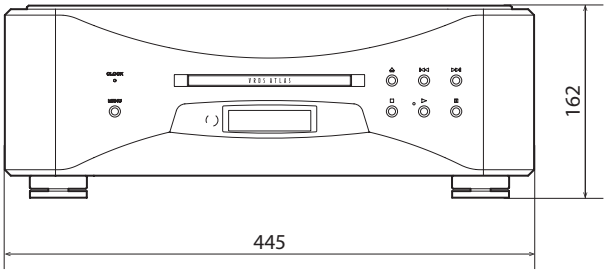
付属品

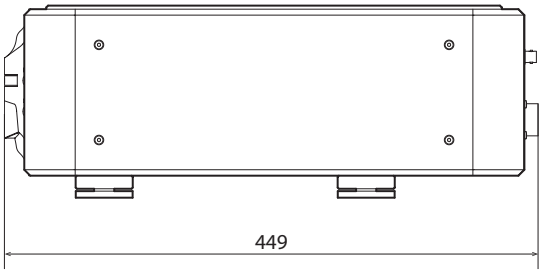
電源コード ×1
DC 電源接続コード ×2
HDMI ケーブル ×1
リモコン (RC-1333)×1
リモコン用乾電池 (単 3)×2
フェルト ×8
取扱説明書 (本書)×1
ご愛用者カード ×1

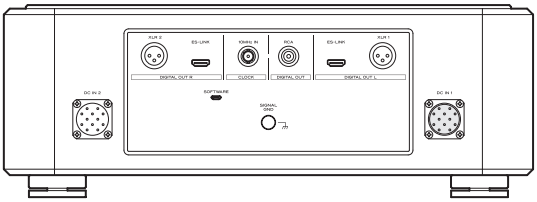
取扱説明書のイラストが一部製品と異なる場合があります。
仕様及び外観は改善のため予告なく変更することがあります。

寸法図

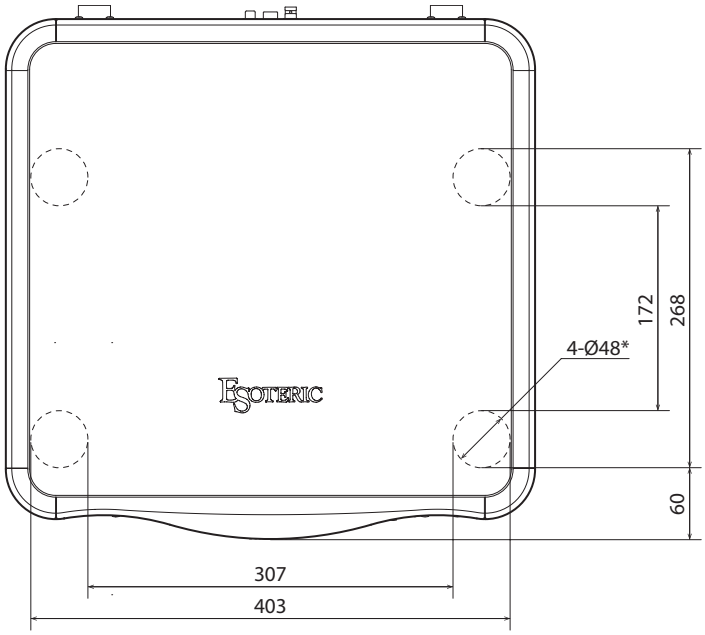
本体





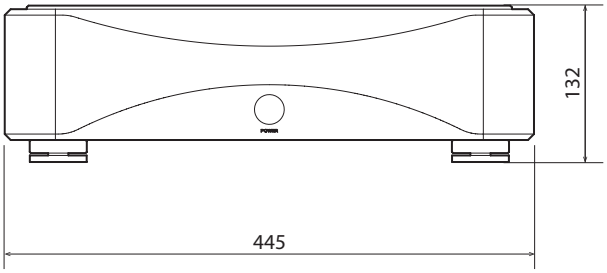


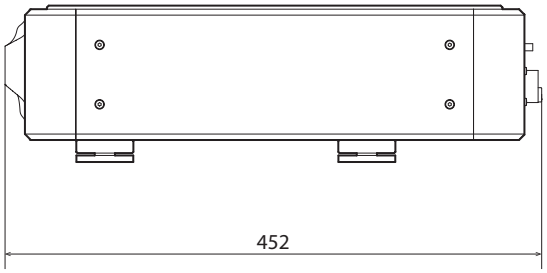
フット配置図

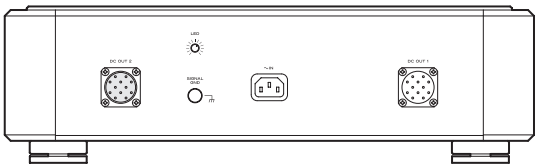


単位：mm
* 直径 48mm フット ×4

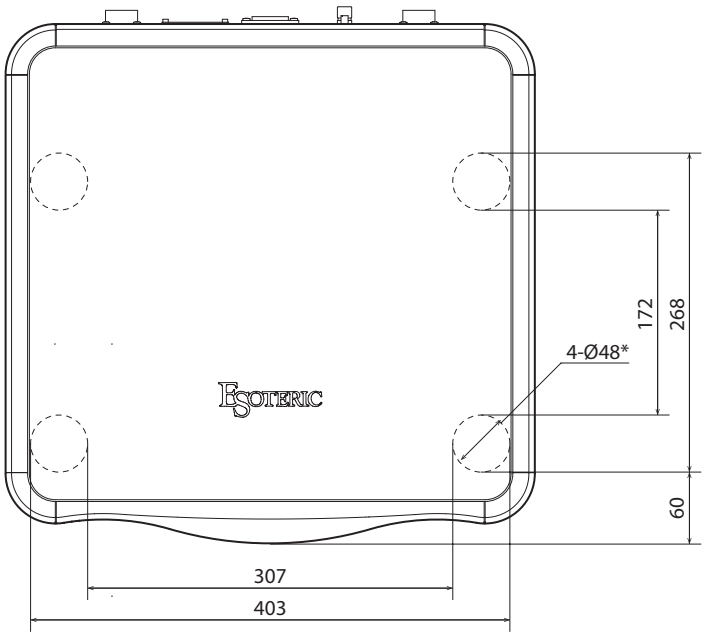
電源部







フット配置図



単位：mm
* 直径 48mm フット ×4

保証とアフターサービス

■保証書

保証書はご愛用者カードと引き換えに発行いたします。

添付のご愛用者カードに必要事項を御記入の上、ご購入後なるべく 1 ヶ月以内にご返送ください。保証書が届きましたら、保証内容をご確認の上、大切に保管してください。
保証期間はお買い上げ日から 3 年です。

- 保証書発行には約 1 ヶ月程度かかります。あらかじめご了承ください。
- ご記入頂いたご愛用者カードのご購入日が弊社出荷日と大きく異なる場合（6 ヶ月以上ご愛用者カードの返送がない場合、ご愛用者カードでのユーザー登録をせず転売された場合等）は、保証書を発行できない場合があります。

無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で保証期間内に故障が発生した場合には、弊社サービス部門が無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、保証書をご提示の上、弊社サービス部門またはお買い上げの販売店に修理をご依頼ください。商品を送付していただく場合の送付方法については、事前に弊社サービス部門にお問い合わせください。なお、離島および離島に準じる遠隔地への出張修理を行った場合は、出張に要する実費を申し受けます。
3. ご転居、ご贈答品等でお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合は、弊社サービス部門にご連絡ください。
4. 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
   (1) ご使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
   (2) お買上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷
   (3) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害や異常電圧による故障および損傷
   (4) 接続している他の機器に起因する故障および損傷
   (5) 業務用の長時間使用など、特に苛酷な条件下において使用された場合の故障および損傷
   (6) 消耗品の自然消耗、磨耗、劣化や寿命部品等の交換が必要となった場合のメンテナンスやオーバーホール
   (7) 保証書の提示がない場合
   (8) 保証書にお買上げ年月日、お客様名、販売店名 (印) の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
5. 保証書は日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.
6. 保証書は再発行いたしませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

■補修用性能部品の保有期間

当社は、この製品の補修用性能部品 (製品の機能を維持するために必要な部品) を製造打ち切り後 8 年間保有しています。

■ご不明な点や修理に関するご相談は

修理に関するご相談、並びにご不明な点は、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (34 ページに記載) にお問い合わせください。

■修理を依頼されるときは

28 ページの「困ったときは」に従って調べていただき、なお異常のあるときは使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはティアック修理センター (34 ページに記載) にご連絡ください。
なお、本体の故障もしくは不具合により発生した付随的損害 (録音内容などの補償) の責についてはご容赦ください。

保証期間中は

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って、修理させていただきます。

保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できる場合は、ご希望により有料にて修理させていただきます。

修理料金の仕組み

技術料： 故障した製品を正常に修復するための料金です。測定機等の設備費、技術者の人件費、技術教育費が含まれています。
部品代： 修理に使用した部品代金です。その他修理に付帯する部材等を含む場合もあります。
出張料： 製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

修理の際ご連絡いただきたい内容

型名：スーパーオーディオCD/CDトランスポート
Grandioso P1X
シリアルナンバー：
お買い上げ日：
販売店名：
お客様のご連絡先
故障の状況(できるだけ詳しく)

■廃棄するときは

本機を廃棄する場合に必要になる収集費などの費用は、お客様のご負担になります。

分解・改造禁止

この機器は絶対に分解・改造しないでください。
この機器に対して、当社指定のサービス機関以外による修理や改造が行われた場合は、保証期間内であっても保証対象外となります。

当社指定のサービス機関以外による修理や改造によってこの機器が故障または損傷したり、人的・物的損害が生じても、当社は一切の責任を負いません。

ソフトウェアに関する重要なお知らせ

本製品に搭載されるソフトウェアには、ティアック株式会社（以下「弊社」とします）が第三者より直接的に又は間接的に使用の許諾を受けた下記ソフトウェアが含まれております。

1. CMSIS Cortex-M
2. STM32F4xx Hardwere Abstraction Layer Driver
3. STM32F4xx Low-Layer Driver

当該ソフトウェアの著作権者の要求に基づき、弊社は以下の内容をお客様に通知いたします。

• CMSIS Cortex-M

Portions Copyright (c) 2016 STMicroelectronics International N.V. All rights reserved.

Portions Copyright (c) 2013 ARM LIMITED

All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

- Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
- Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
- Neither the name of ARM nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

• STM32F4xx Hardwere Abstraction Layer Driver

• STM32F4xx Low-Layer Driver

COPYRIGHT(c) 2017 STMicroelectronics

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
3. Neither the name of STMicroelectronics nor the names of its contributors may be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

エソテリック株式会社

〒206-8530　東京都多摩市落合1-47　　https://www.esoteric.jp/jp/

この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせ

AVお客様相談室　〒206-8530　東京都多摩市落合1-47

042-356-9235 携帯電話、IP電話をご利用の場合

0570-000-701 ナビダイヤル 固定電話をご利用の場合

FAX：042-356-9242

受付時間は、10:00 ～ 12:00/13:00 ～ 17:00 です。
（土・日・祝日・弊社指定休日を除く）

故障・修理や保守についてのお問い合わせ

ティアック修理センター　〒358-0026　埼玉県入間市小谷田858

04-2901-1033 携帯電話、IP電話をご利用の場合

0570-000-501 ナビダイヤル 固定電話をご利用の場合

FAX：04-2901-1036

受付時間は、9:30 ～ 17:00 です。
（土・日・祝日・弊社指定休日を除く）

● 住所や電話番号は、予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。



エソテリック株式会社

PRINTED IN JAPAN 0221 MA-2724F